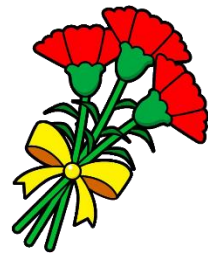


和田公民館だより 令和4年5月

わだつみ



☎:28-8396 FAX:28-8346
E-mail wadaco@chukai.ne.jp



和田公民館ホームページ QRコード
ホームページから最新の情報をご覧ください
ただけます。

和田町人口動向 (R4.3.31 現在)

男:1,152(+1) 女:1,275(-1) 計:2,427(±0)
世帯数 1,123 (+4)

5月のおもな行事予定

日	曜日	行 事
8	日	マツ守り隊 8:00～ (於:和田浜旧キャンプ場) 女性部参加
10	火	よな GO GO 体操 10:30～、20:00～
11	水	保健師の「出張!なんでも健康相談」 9:30～11:30
16	月	わだつみ塾 開講式・第1回教養講座 13:30～
22	日	マツ守り隊 8:00～ (於:和田小学校灘)

グラウンドゴルフ大会中止のお知らせ

6月12日に予定していました自治会対抗グラウンドゴルフ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大傾向が続いている状況をふまえ、今年度も中止とさせていただきます。
誠に残念ですが、ご了承ください。

わだつみ塾開講のご案内

☆開講式・第1回 教養講座 「放送局と天気予報のウラ側」

と き: 5月16日(月)

13:30～15:00

ところ: 和田公民館

講 師: BSS 気象予報士 石川 博康 氏
フリーアナウンサー 田中 友香理氏

案内チラシから
日程が変更になっ
ています。

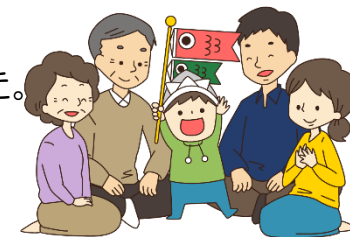
令和4年度のわだつみ塾が、5月から始まります。
皆様に楽しく学んでいただけるよう、あらゆる分野
のすばらしい講師の方々をお招きいたします。申し
込みは、随時受付しております。
皆さまお誘いあわせて、奮ってご参加ください。

～ありがとうございます～

こいのぼりをご寄贈いただきました。

2区 矢倉 文夫 様

9区 藤山 公夫 様



今年もこいのぼりが元気に泳いでいます!

4月19日(火)快晴の下、和田保育園とのぞみ保育園の園児さんの元気いっぱいこいのぼりの歌が響く中、青少年育成会と子ども会の役員、地域の方々の協力でこいのぼりが空高く揚げられました。5月下旬まで泳いでいます。



新刊図書のご案内

★同志少女よ、敵を撃て 著:逢坂 冬馬



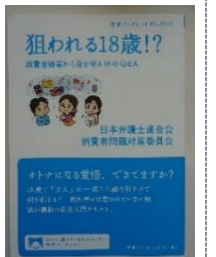
2022 年本屋大賞受賞
戦争の悲惨さが胸に迫ります。

★さんいんキラリ 別冊 2022

★三千円の使い方
著:原田 ひ香



★狙われる18歳!?
岩波ブックレット
《7区 矢倉淳氏寄贈》



おめでとうございます!

日本海新聞ふるさと大賞 2021
米子市の部 地域貢献賞
和田町マツ守り隊



米子市善行者表彰

自治善行者 岩田 輝男様 (3区)
体育善行者 佐々木音華様 (5区)



「境港さかなの達人」認定

増田 貴志 君
(和田小6年 6区)



☆どれみふぁくらぶ 5月の活動のお知らせ☆

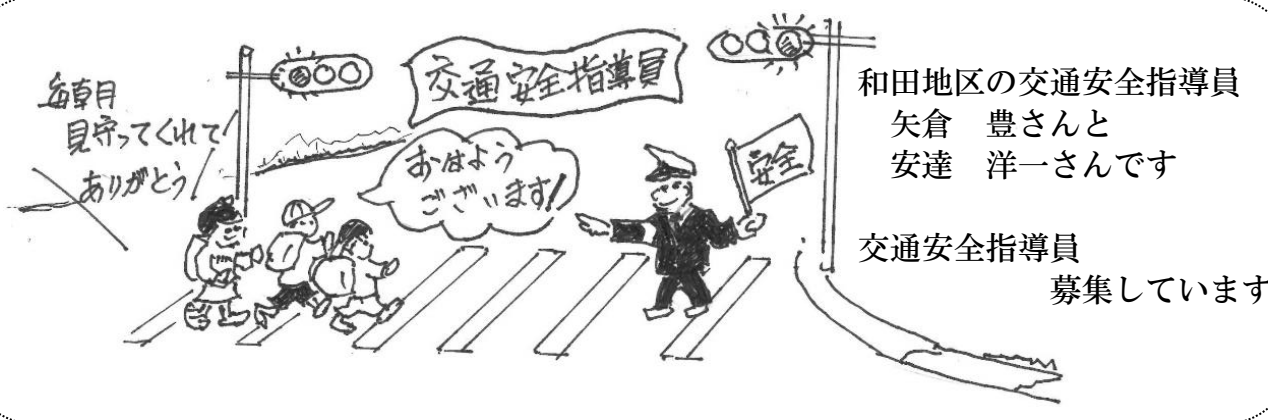
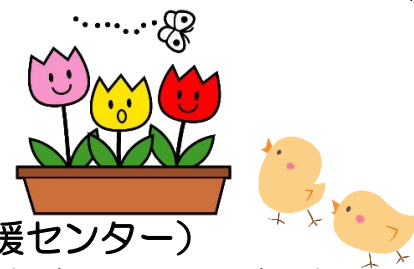
5月12日(木) 10:30～

室内遊び(和田公民館)

5月18日(水) 10:30～

合同サークル(弓ヶ浜支援センター)

◎未就園の親子さん募集中!! お問い合わせは公民館(28-8396)まで



あなたのまちの保健師だより

こんにちは。保健師の林です。

春は様々な変化に適応しようと対応し続けた結果、心身の不調を感じやすいと言われています。いわゆる“5月病”ですね。さらには続くコロナ禍に不安や苛立ち、気の抜けない緊張状態に疲れを感じるという方も多いのではないのでしょうか。

こんな時期だからこそ、ご自身の体調に目を配っていただき、変化を感じたら早めに対処いただけたらと思います。対処の仕方は様々ですが、信頼できる相手に相談をする、話を聞いてもらうこともその1つです。もちろんたわいもない会話でOKです。幸いなことに和田地区には地域で皆さんを見守るサポーターさんも多く、活動も活発で、本当に恵まれている地区のように感じます。

相談先の1つにご紹介したいのが、“保健師の 出張! なんでも健康相談”です。令和2年度より月に1回公民館で行っています。基本的には第1水曜日の午前9時

30分から11時30分の間、私、林が相談をお受けします。

対象者はどなたでも。小さな子どもさんの相談からご高齢の方の相談まで、相談内容は“なんでも”結構です。例えば、血圧を測って欲しい…赤ちゃんの体重を測って欲しい…不安な気持ちを聞いてほしい…夫の愚痴を聞いてほしい(笑)など、なんでもお聞きしますのでどうぞ気軽にお越しください。



もう1つお勧めしたいのが、気分が落ち込んだ時は“上を向くこと”。上を向く方が下を向くよりも楽しい気分になるという研究結果があります。脳が楽しい気分なのだと勘違いし、幸せを感じるそうです。さらには自然と胸が広がり呼吸も楽になります。元気で清々しい気持ちの時には自然と上を向いていませんか? 幸せな時に無意識にやっていることを意識的にやってみてはいかがでしょうか。

和田小学校だより

和田小学校 校長 福田 哲周

18名の巣立ち

《卒業式式辞より抜粋》

皆さんは、友達と学び合い、認め合い、高め合いながら、和田小「のぞみの松」「たえぬきの砂」「思いやりの海」の3つの言葉を目指して努力してきました。特に、6年生になってからは、学校のリーダーとして、運動会、縦割り活動、委員会活動など、様々な場面で、下級生をリードする優しく頼もしい最上級生でした。

9月、「笑顔で励まし合おう!最後まで精一杯 本気でチャレンジ!」のスローガンで取り組んだ運動会の色別の応援合戦では、応援団長を中心に、いろいろなアイディアを出し合い、下級生と一緒に運動会を盛り上げてくれました。「心を1つに合わせ、学んできたことを伝えよう」をスローガンに取り組んだ11月の学習発表会で演じてくれたのは、人権劇「教科書無償化運動」でした。子供に教科書を持って学校へ行かせたいという小さなきっかけから団結し、声をあげ続けることが大切であることがしっかり伝わりました。これも皆さんが協力したからこそ出来た素晴らしい劇でした。皆さんが言動や身をもって示してくれた和田小の最上級生としての在り方は、今、皆さんを見つめている下級生がしっかりと引き継いでくれると思います。

このように、素晴らしい思い出を残してくれた皆さんも、4月からは中学生になります。そこで、卒業にあたり、皆さんへのはなむけの言葉を贈りたいと思います。

北京冬季オリンピックは、まだ記憶にも新しいことと思います。男子フィギュアスケートで銅メダルを獲得した宇野昌磨(うの しょうま)選手が競技後の記者会見で、金メダルについて訊かれたとき、「ネイサン選手の実力が明らかに自分より上だったので、この大会で金メダルを目標にすることは、自分の成功じゃなくネイサン選手の失敗を願うことになる。だからまったく考えていなかった。」と答えておられました。宇野選手は、自分の実力を認め、他人の失敗を願うのではなく、メダルの色よりも「自己ベスト」を出すことを目標にして演技されていたのだと思います。また、出場したアスリートがゴールして何度も拳を握っている姿も、目指した「自己ベスト」の目標が、かなった瞬間だと思います。「自己ベスト」は、オリンピックに出場しているす



べてのアスリートの目標です。しかし、このことは、皆さんや私にも言えることだと思います。自分の持つ記録を塗り替えることに、努力する。こだわる。挑戦する。昨日より今日、頑張った自分。昨年より今年、成長した自分。自分を自分の意思で乗り越えていく。北京オリンピックのアスリート達が目指した「自己ベスト」も、皆さんが目指す「自己ベスト」も同じだと思います。これからは、「自己ベスト」を目指し、より良い未来を手に入れください。

